

日曜日 日七十二月三

軍の優からコンセン  
トの劣にコンソア  
ンと云ふこと、後  
者は有るを云ふこと、之も軍  
縮小などに見え

### 平町中心の国道舗装 愈々實測に着手する

#### 近く主務省から技術家を派遣 区域は湯本、久の濱間

平町を中心とする湯本、四倉間の国道舗装計画は関係町村の熱心なる運動で九年度に施行されそうなる模様であつたと、湯本、久の濱間にも同様の運動が起り進められてゐる。主務省に於ても本縣下第一の交通量に對し當然の必要を認め前後數回に亘る調査の結果いよいよ施行される事に決し近く内務省土木局から技術者を派遣實地測量に着手することになつた右舗装の區域は

### 平驛でもポツ／＼ お花見列車の準備

#### 櫻と満蒙博に出る見込み 臨時列車の運結と増結

平驛では松ヶ岡公園の櫻花期を控いて殊に本年は満蒙の産業並に國防博覧會もある爲めに盛花期の出入を見込み列車の増結や臨時運轉その他旅客の便に應ずべく水戸運輸事務と打合せ中であるが問題は開花期で大体の豫想を四月十八日頃から當て二十日の土曜と二十一日の日曜にかけて臨時運轉を準備を取つてゐる。右の列車は湯本四倉間の區域とし湯本發平着に四本、平發湯本着に三本、尚ほ此の外四倉發平着の一、二列車を定時

### 平公園に乘込む 觀櫻客千名の団体

#### 水戸運輸事務所の主催で 關東北南十三ヶ驛から

平町松ヶ岡の櫻花は年々毎氣にホク／＼してゐる。平町外二ヶ村の水害豫防組合はこれに當つて今年も鐵道臨時列車の外の應急の處置に事欠かぬ要を止め向來三月二十一日の日曜には水戸運輸事務所の主催で特別列車を仕立て水戸、關本間の各驛から觀櫻客を募り少くとも一千名の団体を乗込ませよう計畫で既に募集を開始したが同區間十三ヶ驛の應募豫想には出發驛の水戸及び途中の助川並に高萩、磯原だけでも豫定數に餘りそうだと云はれる前景

### 花の平町に開かれる 縣(土木建築)組合總會

#### 來月十四日平署の會議室で 終つて谷口樓にて懇親會

本縣土木建築諸業組合に於てから谷口樓に懇親會を催されける本年の第四回總會は來月十四日平町に於て開催される。二百二十五名で約一千五百圓のことになつた同會は午前十時を見込む經費に地元平町ではから平署の會議室を會場と致し自慢の櫻花を紹介する。演説が役員四十八名の總改選を行はると云はれてゐるが現役員は左

### 土木業仲間の亂闘 一名即死一名重傷

#### 今朝植田の山田屋旅館方にて 二組の宴會が口論の末

石城郡植田町の山田屋旅館方にて昨二十六日午後同郡勿來町の請負業者荒川又一郎(一)の頭部その他多断の重傷を負はせて現場を逃走したので所轄植田署では平署を頼り植田町山田屋旅館から來ての他手に手配方を急報し今朝に利採取をしてゐる倉島安太郎(二)三名の同僚と共に小宴中であつた夜半兩間に於ける器の手に逮捕された向は清一と亂闘となり又一郎は所持の

### 來月滿期改選する 小川江筋組合議員

#### 七ヶ町村から擧る二十七名 相當の競争ある模様

石城郡小川江筋水利組合議員は二十七名の定員になつての満期改選は來月二十五日ある内現在在は鈴木次郎(平)で事務所では目下有権者名簿(達)中田惣吉(神谷)高岡唯一の作製中であるが前回の有権者(草野)根本直之助(大浦)の者は左記の如く七ヶ町村を合四死死亡缺員のまゝで當然とせ一千四百七十九名を算し誰れに代る新人が出る上に各町

### 拾遺歌中題詞の「さ」は 現今の湯本(三)町に懸く

#### (飯坂温泉元湯の鯖湖に強引、 建碑せるは無稽、不當の極み)

該神は小名濱町内に推定すべし。豫も亦之に合致するに否かであり、享保、寶曆、佐、併し其の詳細は就れ日久間洞、長久保赤水の二大を改め、稿を更へて再言する先學が、共に小名濱に懸けて、心算であるから、今此には差をるのは誤らざる識見で、し控へる。其の他の四社即ち

### 無罪

#### 今二十七日宮城 控訴院の判決で

磐城銀行の破産管委會員關係で同行の土地處分に心なき罪を問はれた縣會議員井上茂作(六七)氏外平町色川勝三郎(四五)内郷村佐藤三平(四五)兩氏に係る事件は平支部の判決に對して控訴中であつたが今二十七日午後一時宮城控訴院の判決に於て無罪となつた

### 米山技手赴任

相馬郡農會技手に榮轉した石城郡農會技手米山耕平氏は二十七日午前十一時平發列車で赴任の途に就いた

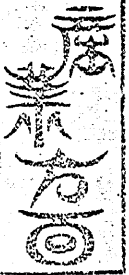
### 御通知申上候

本専務取締役松崎治氏夫人  
ツネ子殿豫而病氣の處養生不相  
叶本日午後六時死去致候間此段  
御通知申上候

追而來る三十日午後二時より石城郡平驛村大字中平窪字村進の自邸に於て告別式執行  
昭和十三年三月二十五日  
福島市榮町  
株式會社 福島毛ター商會

### 鮫川刺史

大國魂、二侯、佐藤久嶺、子村を除く外、後には多郡鐵倉は皆岩城郡に屬してをるに入つて了つた。併しながら後世に至り、岩(正誤ニ)三ノ二ノ二人が、城、岩前郡界が往々に出入し人があり同三ノ一因、同よ近世前後は、七社全部が岩前郡。同四ノ七龜裂、裂カ。一とも)前(崎とも)郡管となつ四ノ一ノ一發した、涌いた。た。又岩前郡の南部、たとへ同上一之れがの三字削除。同は今の湯本町、磐崎、渡邊、上五を惟ふに其の昔は、は、泉の諸村乃至玉川村の南境が、其の昔。同上九ケウ、寮。同鎌倉期の寛喜二年より南北朝三ノ五款。同三ノ七條、佛。にかけて、菊多郡に併改され一五ノ三ノ一エウ、寮。同四降つて其等の内湯本、磐崎町ノ一つた。ひ、



### 栗の接木と 病虫害(下)

接木は四月中旬  
恐ろしい蟻砲虫

最近或る人の語では接木を削つてから淡い水に浸して接ぐと活活しいと云はれてゐるがそれは未だ實行したことがない。

適地は東北、北陸などの様に冷地向きの品種としては中生の大栗、銀山(ギンヨシ)長光寺中生の中栗としてはオサヤ等があり、貯蔵用として殊に求めると晩生の大栗で霜被(シモカツギ)がある、適地表土が赤白でなく極度に乾燥したり又過潤でない限り大低のところは適してゐる。

病害虫は植付後幹の直径二寸位までの間にはよく胴枯病に浸され易いのであるが此の豫防方法としては冬の間に於て一斗の水に二百匁の硫酸銅を溶解して幹を洗ひその後石灰を塗布する、石灰は普通の石灰一斗について水三合食鹽一合の割合としてよく練つてブラシシユで塗りつけるのである。

害虫としては天中(俗に云ふ蟻砲虫)が恐ろしい、これは前に述べたやうな石灰を塗布する處方に硫酸銅を五匁加へて塗布すれば蟻卵を防ぐことが出来る、一端天中が侵した場合は虫の穴を掃除して除虫菊の粉末十五匁を揮発油一合の中に一夜浸漬してこれを一孔に五瓦程度づゝ注入して虫の穴を密封すればよい、他の害虫としては白蟻大工がある、これは初め木の幹に

銀の米粒の如きものを大きなかまきりとし磨むから之れを冬の間に除去せねばならないが幼虫となつたら木の枝を一本づゝ坊主にしてしまふからその際は丹念に虫を殺すことである。(終り)



### 油問屋 關内油店

支店 支那山形駅前通  
電話長三三八  
支店 支那山形駅前通  
電話長三三八  
支店 支那山形駅前通  
電話長三三八

日本株式会社  
石油株式会社  
モビール油  
ガソリン

正確な体温計  
寒暖計  
計量器指定販賣  
山野邊藥局

玉付石坂ガキ入リマス。  
九五錢ヨリ

學習院型ランドセル  
サイゴイ印學生帽  
女學生用手提カバン

入學用品店內陳列  
入學ト進級ノオ準備ニ  
念入ニ吟味セル實用品揃イ

ツルヤ  
平四・電一四〇

産科 婦人科 長木村寅次郎  
外科 醫學博士 内木宗八  
藥局 藥劑師 立蕃彌一

平町新川町九一  
入院隨意 病室完備  
木村病院  
電話一六四番

しづかに  
食事の出来  
正しい食卓  
正しい喫茶  
正しい酒場

平町 紺屋町  
藤沼醫院  
電五〇七番

一、本科五拾名 二、裁縫専修科百名  
三、専攻科三拾名 四、師範科 貳拾名  
五、本科裁縫専修科 二學年補缺若干名

文部大臣 藤田女學校 募集生徒

願書受付三月卅一日まで  
詳細は學則請求のこと  
平町田町(電話三二八番)

三十回生徒募集  
非常時の女性に促す

平南町 産婆看護婦學校へ  
それには成績のよいと定評のある

平産婆看護婦學校  
校長 蒲野キヨ子  
(電話三〇七番)

表代城馨  
酒銘

美味經濟  
ヤマワキ油

社會名合崎山  
番十話會

目科療診  
一、齒科 一般  
一、口腔外科  
一、レントゲン科

中野齒科醫院  
院長 日本齒科 中野惠次  
西川誠  
平町田町(松月堂向ひ)電話五〇九番

高久病院  
院長 醫學士 高久忠

入院 應需  
明雲堂眼科醫院  
電話六八九番

債券公債 兩咎金融  
多田井質店  
平町大工町 電話五九一番

英和・和英辭典  
國語・漢和辭典  
各科豐富取揃へました

全科參考書類  
中等教科書 各科參考書

電話 四二四番  
平四

新學期の御用意は  
先づ  
マルトモ書店  
から

小學生 { カバン ¥ 35より  
          { ランドセル ¥ 1,70より  
女學生 手提カバン ¥ 85より

磐城中學校指定背袋あります